

令和3年7月22日

東京都中学校バスケットボール部 関係者の皆様へ

東京都中学校体育連盟バスケットボール部  
競技部長 菅原 芳雄

## 都大会講評にかえて

多くの方々のご理解とご協力を受けて、無事に都大会を終えることができました。まずは優勝した男子 実践学園中学校、並びに女子 八王子市立第一中学校を称えたいと思います。おめでとうございます。惜しくも優勝は逃したものの、関東大会の出場権を得た各チームの健闘も称えたいと思います。今年度の関東大会は、8月9日（月）から11日（水）にかけて、茨城県ひたちなか市総合運動公園 総合体育館にて行われます。東京都代表校として出場する男女各4チームの皆さんが、今までの成果をコートで発揮されることを願います。またコート外でも、東京都代表生徒はもとより、中学生として模範となる人であってください。関東大会では皆さんと同じ学年の、多くの補助役員生徒の皆さんが大会運営に協力してくれます。新型コロナウイルスの感染拡大から、昨年度は全ての中体連公式戦が中止となりました。今まで当たり前のように行われていた大会が開催できず、君たちの先輩方は引退の区切りをつけることさえ出来ませんでした。当たり前だったことが当たり前ではないことを気付いた今だからこそ、皆さんの活動を支えてくれる多くの方々がいることを忘れないでほしいと思います。今年度の関東大会は、各チームで入場できる人数に制限があります。残念ながら、毎日一緒に練習している仲間の中にも、会場に入れない人もいるかもしれません。ここまで一緒に切磋琢磨してきた仲間の分まで、皆さんの一人一人が悔いのない日々を過ごせることを祈っています。頑張ってください。

今大会は令和元年度の新人戦以来の都大会開催となりました。現在も東京都には非常事態宣言が発令されており、多くの市区町村で、部活動の活動に制限がある中での都大会でした。5月から各地区にて実施された予選大会においても、新型コロナウイルスに係る大会棄権を余儀なくされたチームがあります。その中で行われた大会です。監督会議でもガイドラインに沿った多くの約束を顧問の先生方に説明させていただきました。選手の皆さんも、会場で食事がとれなかったり、入場制限で待たされるなど大変な思いをされたかもしれません。また、感染予防の観点から、今大会は無観客試合としたことで、保護者の皆様の観戦が叶いませんでした。特に3年生の保護者の皆様のことを考えると本当に申し訳ない気持ちです。数名の保護者の方から有観客にできないかのご指摘をいただきましたが、会場のスペースの問題や、感染予防を第一と考え大会開催の条件として無観客にしたことを説明させていただき、ご理解をいただきました。やっと開催できた大会でしたが、いつ感染拡大の問題から大会中止を余儀なくされるか心が休まらない大会でもありました。選手の皆さんをはじめ、保護者の皆さま、大会会場を引き受けてくださった会場校の皆さま、そして地区予選から本当に多くの競技役員の先生方に支えられた大会でした。皆様方のご協力なくして開催することはできませんでした。この場を借りまして、今大会に関わったすべての方々に熱く御礼申し上げます。ありがとうございました。新型コロナウイルスとの戦いはまだまだ続きます。皆様をはじめ、ご家族の皆様の健康を祈りまして講評に代えさせていただきます。